

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 11 月 21 日 (2022.11.21)

【公開番号】特開 2022-58873 (P2022-58873A)

【公開日】令和 4 年 4 月 12 日 (2022.4.12)

【年通号数】公開公報 (特許) 2022-065

【出願番号】特願 2022-15514 (P2022-15514)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/437 (2006.01)

10

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 K 47/44 (2017.01)

【F I】

A 6 1 K 31/437

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 37/02

20

A 6 1 K 47/14

A 6 1 K 47/44

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 11 月 11 日 (2022.11.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

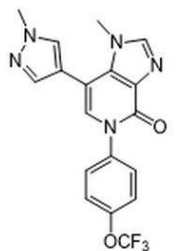
【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

線維性疾患の治療において使用するための化合物 I を含む組成物であって、



(化合物 I)

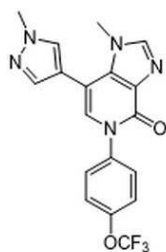
40

前記組成物は経口送達のために製剤化され、前記治療が、治療有効量の化合物 I を対象に提供することと、化合物 I と同時に胃酸低減薬を服用しないように対象に助言することとを含む、組成物。

【請求項 2】

線維性疾患の治療において使用するための化合物 I を含む組成物であって、

50

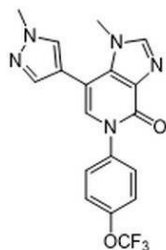


(化合物 I)

前記組成物は経口送達のために製剤化され、前記治療が、治療有効量の化合物 I を対象に投与することと、胃酸低減薬の同時投与を避けることとを含む、組成物。 10

【請求項 3】

線維性疾患の治療において使用するための化合物 I を含む組成物であって、



(化合物 I)

20

前記治療が、胃酸低減薬を必要とする対象に、

(i) 200 mg B I D ;

(i i) 525 mg Q D ; または

(i i i) 275 mg B I D

の用量の化合物 I を投与することと、

胃酸低減薬の同時投与を避けることとを含む、組成物。

【請求項 4】

前記胃酸低減薬が、プロトンポンプ阻害薬 (P P I)、ヒスタミン 2 受容体拮抗薬 (H 2 R A)、および制酸薬の群から 1 つ以上選択される、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の使用のための組成物。 30

【請求項 5】

前記胃酸低減薬が P P I を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の使用のための組成物。

【請求項 6】

前記 P P I がラベプラゾールを含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の使用のための組成物。

【請求項 7】

前記治療が、化合物 I の服用前または服用後に胃酸低減薬を服用しないように前記対象に助言することをさらに含む、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の使用のための組成物。 40

【請求項 8】

前記治療が、化合物 I を食物と一緒に摂取するように前記対象に助言することをさらに含む、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の使用のための組成物。

【請求項 9】

治療される前記対象が、4 以下の胃内 pH を有する、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の使用のための組成物。

【請求項 10】

治療される前記対象が、3 未満の胃内 pH を有する、請求項 9 に記載の使用のための組 50

成物。

【請求項 1 1】

治療される前記対象が、胃酸低減薬を必要としている、請求項 1 ~ 1 0 のいずれか一項に記載の使用のための組成物。

【請求項 1 2】

前記治療が、1 日当たり 1 m g ~ 5 0 0 0 m g の範囲の用量で、化合物 I を前記対象に提供することを含む、請求項 1 ~ 1 1 のいずれか一項に記載の使用のための組成物。

10

20

30

40

50